

平成25年度 津山市立河辺小学校 学校評価書

校長 中田 靖宏 ㊟

1 自己評価

I 評価結果（別紙参照）

学校評価を教職員の教育活動に対する自己評価、保護者・学校関係者の外部評価を行い、それぞれを集計して、全職員で共通理解し改善策を探った。評価書には、「学力の充実」「生徒指導の充実」「開かれた学校づくり」「安心・安全」の四つの柱に沿ってまとめた。

II 分析・改善方策（別紙参照）

四つの柱の取組について反省をし、分析・改善の方策を全職員で探った。課題解決のため、一層改善につながる具体的な取り組みについて、共通理解をして努力を重ねていきたい。

2 学校関係者評価委員会

國定義信（町内会長） 坂手周子（主任児童委員） 神尾治夫（学識経験者）
小林睦茂（河辺公民館長） 垂井康宏（PTA会長） 中塚民恵（PTA副会長）

3 学校関係者評価（別紙参照）

学校教育目標、めざす学校像、めざす児童像、学校経営目標等、学校がめざしている姿は良い。今後は、今の現状をしっかりと分析し、どうしたら達成できるのかを具体的な方法やプロセスを明確にして取り組んでいく必要がある。

特に豊かな心の育成（感動する心・感謝する心）を大切にし、一人ひとりを大切にする集団づくりは、学校教育の中心に据えて取り組んでいきたい。

4 来年度の重点取組（学校評価をふまえた今後の方向性）

学校教育目標の「自ら学び 生き生きと表現する 心豊かな子どもを育てる」をめざして、家庭・地域と連携を図りながら「豊かな心」を育む教育を充実させたい。

①教育活動の指導の重点

- ・落ち着いた学習環境づくり（学習規律の徹底・生活規律の徹底）
- ・楽しい行事や自主的な活動の取組（学校行事・児童会活動・縦割り活動等）
- ・学び合いのある授業改善（子ども同士が関わることを中心に）

②豊かな心の育成

- ・気持ちのよいあいさつの習慣化（いつでも・どこでも・だれとでも・場に応じて）
- ・温かい人間関係づくり（子ども同士・先生と子ども）
- ・積極的な児童理解

③保護者・地域との連携

- ・各種行事、授業等を通して積極的に学校を公開する。
- ・地域人材を有効に生かした学校づくりをする。